

地域情報

地域へのお知らせ(非営利)を無料で掲載します。ご希望の方は、内容・連絡先を明記し、右記宛先にお寄せください。(紙面の都合上、掲載が出来ない事もございます)

- さわやかちば県民プラザ** ☎7140-8600 月曜休所
- プログラミング学習会** 4/21(日)10:00～11:50、小学生～シニア、8人、無料(利用料300円要)、当日受付、先着順
- The World of Brass2024 in県民プラザ** 5/11(土)9:30～16:15、東関東各県の中学・高校吹奏楽部が参加。マーチングなどを披露、無料
- 県立柏の葉公園** 事務所 ☎7134-2015
- 駐車場が混みます** ☆千葉県高校野球春季大会 4/20(土)・21(日)・27(土)、☆ジャパンラグビーリーグワン 4/28(日)、☆柏の葉爽快マラソン5/3(金・祝)、☆The World of Brass 5/11(土)
- 緑の講習会**
- ☆**ハーブ栽培** 5/16(木)13:30～15:30、15人、2000円、☆**アジサイの育て方** 5/19(日)13:30～15:30、24人、110円、☆**トロピカルフルーツ!** 6/12(水)13:30～15:30、24人、無料、☎先着順、事務所(6月分は5/5より受付開始)
- 柏の葉ウォーキングクラブ** 体育館前9:00受付、当日申込、☎川口 ☎090-8499-5454
- ①**柏の葉健康コース** 4/17(水)、大堀川水辺公園(7km)、200円
- ②**ポール&ノルディック・ウォーク教室** 4/23(火)、500円、ポールレンタル100円
- ③**ウォーキング教室** 5/7(火)、7km、200円
- まちの健康研究所 あ・した** ☎7197-7713 ちばらぼーと柏の葉北館3階、無料(要登録)
- ☆**食ミニ講座「トマト」** 4/21(日)・27(土)10:30～11:00、10人、当日受付、☆**春のデトックスヨガ** 4/23(火)11:00～12:30(ヨガ約50分)、10人、要申込
- 北部公民館** ☎7153-0567
- なかよしひろば** 4/17(水)10:00～11:30、親子20組、無料、当日先着順
- リズムストレッチング** 4/17(水)13:00～14:30、20人、無料、当日先着順
- 切り絵教室** 5/2(木)10:00～12:00、15人、1000円、☎受付中、先着順
- かんたんハンドメイド** 5/8(水)13:00～15:00、10人、800円、☎4/21(日)9:00～先着順
- 江戸川台児童センター** ☎7154-3015
- 幼児グループ募集(詳細問合せ)**
- にこにこサロン** ①5/11(土)母の日プレゼントづくり、②5/24(金)室内アスレチック&誕生会、①②とも10:30～11:30、親

掲載希望・紙面の感想は下記へ

〒270-0103 流山市美原4-1212-4 ASA江戸川台・運河店 グッド・モーニング編集室 TEL.7153-5211 FAX.7154-0169



- 子各20組、☎①4/26～、②5/10～先着順
- 春のふれあいあそび** 4/22(月)10:30～11:15、12組、☎受付中、先着順
- 森の図書館** ☎7152-3200 月曜と4/30休
- ギャラリー展示ケース「東深井古墳群から出土した埴輪」** 4/17(水)～5/6(月・休)、9:00～17:00(初日13:00～・最終日15:00まで)、無料、※4/20(土)に**春の古墳探検**も開催、要申込、詳細は同館へ
- バリアフリーおはなし会** 5/26(日)15:00～15:30、手話の同時通訳や手話体験あり、30人、無料、☎4/23(火)11:00～電話またはFAX(7152-3636)
- 利根運河交流館** ☎7153-8555、月火休
- 利根運河の史跡展** 開催中～5/6(月・休)9:00～17:00、無料
- 泳げ! みんなのこいのぼり** 開催中～5/6(月・休)、運河水辺公園に鯉のぼりを掲揚
- うんがいい! 朝市へ出発進行～鉄道ミニフェスタ同時開催** 4/27(土)9:00～13:00、運河水辺公園、野菜や流山高校の花・グルメ・手作り品の販売、こいのぼりワークショップやゲーム、対岸で東武鉄道による制服着用体験など、雨天中止
- 子ども食堂**
- 生涯大学校**(北部公民館隣) 4/20(土)12:00～食事提供、子ども無料、大人200円、申込不要(先着65食)、10:30～遊びや学びの場あり、☎☎7152-1181
- みんなの江戸川台キッチン** 4/21(日)11:30～会食、子ども無料、大人200円～、4/25(木)14:15～パン配布、いずれもなく次第終了、江戸川台東自治会館、☎加藤☎090-5493-8671
- 流山おもちゃ病院** ☎HPより
- ☆**ひまわり幼稚園** 4/20(土)9:00～11:30、☆**江戸川台児童センター** 5/10(金)9:30～11:00、☆**森の図書館** 5/11(土)13:00～15:30
- その他**
- 利根運河ピリケンさんスタンプラリー** 開催中～5/6(月・休)、ピリケンさんがいる流山市立博物館、森の図書館、流山おおたかの森駅前観光情報センターでスタンプを押し、利根運河交流館でくじ引き、台紙は各館で配布、無料、☎利根運河交流館 ☎7153-8555

●利根運河待機ガイド

開催中～6/30の毎週日曜日10:00～15:00、運河水辺公園、流山史跡ガイドの会の会員が待機し、利根運河の歴史や見どころを案内、無料、雨天中止、申込不要、☎同会HPより

●テイクアウト青空マルシェ

4/16(火)11:00～売り切れ終了、江戸川台駅東口ロータリー、弁当や惣菜、パン類やスイーツ、魚などを販売、雨天中止

●パソコン無料体験

「Word・Excel・PowerPoint」 4/16(火)9:30～11:30、北部公民館、ノートパソコン持参、要申込、☎☎流山ノートパソコンクラブ・加藤☎7159-2787

●**女声合唱コール・スピカ「歌とピアノの遊び場」** 4/19(金)流山市生涯学習センター、4/26(金)おおたかの森センター、10:00～12:00、さとうきび畑や小犬のワルツなど、各15人、無料、☎☎申渡辺 ☎090-8491-7227

●**利根運河・古墳の森 春の植物観察会** 4/20(土)9:00～12:00、運河駅改札口集合、300円、筆記用具・ルーペ持参、当日受付、雨天中止、☎利根運河の生態系を守る会・菊池 ☎080-4161-1949

●**流山ひろがる和 手作り市** 4/21(日)10:00～16:00、そば懐石あずみ野(野々下)、古布をリメイクした手作り品や雑貨を販売、雨天中止、☎☎小泉 ☎090-4076-6927

●**野田きゃんカフェ「理窓会記念自然公園の自然～キンラン・ギンラン花鑑賞」** 4/27(土)13:00～15:00、理科大セミナーハウス、公園内の散策と紹介をカフェスタイルで、30人、無料、小雨決行、☎☎申同大学 ☎7122-9137

●**端午の節句のつるし飾り** 4/27(土)～5/6(月・休)9:00～17:00、一茶双樹記念館、つるし飾りちくちくの会の作品を展示、無料、4/30休、☎同館 ☎7150-5750

●**「表情画の仲間たち展」会員作品展** 5/8(水)～14(火)9:00～17:00(初日と最終日は短縮)、流山市生涯学習センター、無料、☎☎小栗 ☎090-7735-7153

●**流山子どもミュージカル第20回記念公演「しあわせの青い鳥」** 5/12(日)12:30、16:30開演、柏市民文化会館、前売2200円、当日2700円、全席指定(3歳以上有料)、配信:2000円、昼タセット3000円、☎☎hagareyamakm.ticket@gmail.com

●会員募集 流山ハングル講座2024

第1・3土曜日12:00～14:00、流山市文化会館、韓国語を話して聞いて読んで書いてみよう(中級)、年会費1000円、☎☎小宮 ☎7155-0647

5月中旬出版 先行予約受付へ

田村哲三氏 「流山の史跡をあるく」



弊紙で連載していた「わがまちふるさと再発見!身近な史跡めぐり」が1冊の本になり、出版されます。

江戸川台在住の郷土史研究者で作家の田村哲三氏(85歳)が、自身4作目となる書籍「流山の史跡をあるく」を5月中旬に出版します。同書は、平成25年6月より弊紙で連載を始めた「わがまちふるさと再発見!身近な史跡めぐり」をまとめたものに、新たにコラムを追加。A5判サイズ、172項で、同書を片手に流山の史跡めぐりを楽しめる歴史ガイドブックになっています。



「あらゆるものに興味を持って」などを叩き込まれた経験は、歴史を考える、史跡を知る上で大いに役立ちました。 ◆**流山の史跡の魅力は?** 江戸から明治期の史跡が残る流山本町と利根運河はもちろんのこと、寺社の創建に触れる、城跡に立ち往時を偲ぶ、石神仏を建てた背景に思いを馳せることが出来る流山の史跡は、魅力の塊です。 ◆**健康の秘訣は?** 執筆や史跡ガイド、講演などを通し、日常的に、歩く、声を出す、多くの人との交流、知的なこととの関わりが健康につながっているように思います。 ◆**読者の方へひとこと。** 流山市の将来を考える時、市の歴史を知ること、最も重要なことです。先ず身近な史跡に1歩踏み込み、2歩3歩と進む。何気ない行動から、個人のロマンや発信を知ること、歴史文化を守り、流山のまちづくりに繋がると 생각합니다。本書が史跡めぐりのお供としてお役にたてることを願っています。

◆**郷土史研究に、これまでの人生が活かされていると感じることはありますか。** 出版社勤務時代に「足で調べよ」「資料は発表する10倍集めよ」

◆**出版に際し、感想をお願いします。** 8年余の連載は我が子のようなもので、書籍として出版することは、学業を終えた子を社会へ送り出す心境に似て、嬉しく思います。

◆**健康の秘訣は?** 執筆や史跡ガイド、講演などを通し、日常的に、歩く、声を出す、多くの人との交流、知的なこととの関わりが健康につながっているように思います。

◆**読者の方へひとこと。** 流山市の将来を考える時、市の歴史を知ること、最も重要なことです。先ず身近な史跡に1歩踏み込み、2歩3歩と進む。何気ない行動から、個人のロマンや発信を知ること、歴史文化を守り、流山のまちづくりに繋がると 생각합니다。本書が史跡めぐりのお供としてお役にたてることを願っています。

徳川政権が安定してくると軍馬の必要性も薄れてきました。戦がないので馬の消耗も少なくなり、牧で捕獲された馬の一部は民間に払い下げられ、荷役馬や農耕馬として使われました。江戸中期になると幕府も財政難が出てきたことから、牧内の新田開発に取り組みました。開幕当初の新田開発は、低地部に広がる湿地帯の水田化でしたが、今度は陸地牧内まで新田開発を進めたのです。 牧内の新田開発は原野の開発のため、水田ではなく畑になります。原野を開発することも大変なのに、開墾しても米は取れず、火山灰の積もったローム層により土壌改良にも時間がかかるなど、入植者は大変な苦勞をしました。

28 江戸時代3 小金牧2 業内後 田村哲三

「わがまちふるさと再発見!」 流山のむかしを訪ねて

自然に住み分けられていた新田開発によってそのバランスが崩れました。新田はそれまで野馬が住んでいた地ですから、野馬は新田であろうがなからうが堂々と入り込んできます。しかも畑に作物があればそれを食べるのも自然の行爲ですが、村人にとっては畑が野馬に荒らされることは死活問題です。まして何十年もかけて開発した土地です。村人は牧との境界に土手を築くことを幕府に願ひ出しましたが、幕府はなかなか許可しませんでした。村人は仕方なく境界に樹木を植え、野馬追いの番人を立てるなど対策を取りました。このような村を野馬入り新田と呼びましたが、幕府は村人より野馬を優先。村人は根気よく土手の築堤を申請してようやく野馬土手を築くことができました。

平方原新田の例でみると、入植してから50年近く野馬土手はなかったようです。

平方原新田(現・美原)の例でみると、現存する墓石などから、開発が始まったのは1600年代の終わり頃と推定されます。しかし、検地され、村が成立したのは1730年です。先ず、作物が取れる年貢を納めるようになるまで、実に30年以上かかったことになりました。原野の新田開発がいかに大変であったかがわかります。

野馬入新田 牧ができた当初、人びとが住む村と野馬の住む原野は地続きながら、

申込先 ASA江戸川台 運河 ☎ 04-7153-5211 F A X 04-7154-0169	注文数 冊	流山の史跡をあるく 販売店価格 2,000円(税込) 申込者様氏名 ご住所 電話
---	--------------	---